

和の石を洋風に使うなど工夫して
造園 + 外構 + 建築とトータルな提案へ

3代続く庭師の長男として、高校・大学で造園を学びました。しかし庭師の仕事のキツさを身近で知っていたので後を継ぐ気になれず、エクステリア会社に就職。20年ほど前に当社を創業しました。



代表取締役社長・樽井郁夫様

当初はハウスメーカーの外構工事がメインでしたが、次第に信用を得て、10年前ごろからエンドユーザーとの直の仕事や公共工事などが増えてきました。

現在はハウスメーカーが2割、エンドユーザー直(工務店・デベロッパー経由含む)が4割、公園など公共工事が3割、住宅リフォームが1割ぐらいの比率になっています。住宅リフォームはマンションや店舗の内装が主体。エクステリアの設計をするうちに、外内へも目が向き、建築設計にも関わらようになってきましたが、こちらも面白いです。

外構部門のスタッフは、設計2名、管理2名、営業3名、工事管理6名、事務1名、経理1名。ほかに専属契約の職人が4~5名います。実績は月に住宅外構が10件、個人庭園の管理が30件以上、そのほか公共工事もあります。

最近のエクステリアは、洋から和へ動いてきていますね。当社のデザインは、自然素材を使ったシンプルなナチュラルモダンの提案が多いですが、和の石を洋風に使うなど、ひと味違う工夫をしています。たとえば御影石をアプローチや門柱に使うと、洋風の庭に落ち着きや重厚感が出ます。造園を学んだため植木に詳しいのも強みで、場所に依りて日陰に強い木を配置したり、剪定の仕方をアドバイスしたりもしています。

また、当社は社団法人・日本建築ブロックエクステリア工事業協会の関西事務局を担当。質の高いエクステリア工事をめざし、つねに研鑽している団体なので、お客様の安心感も高いと思います。豊中市は大阪のベッドタウンで、高級住宅が多く、要求水準は厳しいですが、いい仕事をすれば認められるというやりがいもあります。今後地元にも密着した活動を続け、お客様からの紹介をもっと増やしたいですね。そして、造園・外構から建築までトータルな空間づくりをしていきたいと考えています。



AFTER

【エクステリア全景】
カーポートから奥の門扉までをリフォーム。
既存の庭の和の雰囲気と調和するようにと、シンプルな和洋折衷デザインでまとめました。
Uスタイルの端正なフォルムが違和感なくとけ込んでいます。

古い庭を生かした和洋折衷リフォーム

Y様邸

和風の庭を残し、建物を全面建て替え。カーポートから門扉までの一角をリフォームしました。「古い石などを再利用してほしい」というお客様の希望にそって、カーポートの床は、以前右側の境界にあった石垣の石を使って張り直しました。カーポートは「Uスタイル」を採用したため、柱が右側だけですみ、アプローチへの動線がスムーズに。門柱には御影石の延石を立ててすっきりと和洋折衷に。「まるで料亭のようになって」とお客様も大満足の仕上がりでした。



【御影石の門まわり】
門柱は御影石の延石を何本も立てて構成。
高さを変えたり、配置にアールをつけてリズムカルに。
和洋折衷デザインで、洋風の建物と和の庭を調和させています。
右の低い御影石には立水栓を設置。

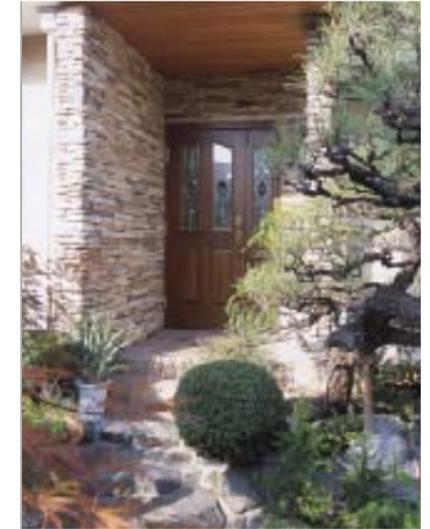


【カーポートから門扉へ】
カーポートの床には、以前石垣に使われていた大きな石などを再利用。床に変化と遊び心。
また、左側の石積みも一部を積み直し、
松も少し位置をずらしてバランスを整えました。



BEFORE

【リフォーム前のエクステリア】
和風の庭はそのままに、右側のカーポートまわりを
リフォームしたいとのご希望でした。



【アプローチから玄関まで】
和の庭と洋風の建物を組み合わせた玄関アプローチ。



【スッキリとおさまったカーポート】
ご希望は車が2台入ること。住宅の密集した狭小地ですが、柱の位置を自由に逃がせるUスタイルだからスペースを広く使えます。
端正な横のラインが直線的な建物にマッチし、
ライトなアーバングレーの色もじっくりと調和して、
まるであつらえたように自然にとけ込んでいます。



【カーポートの屋根を工夫】
カーポートの左右2枚の屋根は、左側の方が奥行きが深くなっています。これは建物に合わせたもの。
この深くした分のおかげで雨の日でも濡れずに快適とのこと。自由度の高いUスタイルらしいプランです。



【2つのアプローチ】
左が会社の玄関、右が自宅の玄関。
限られたスペースで2つのアプローチが
さりげなく分けられています。

Uスタイルでカーポートをスッキリ後付け

K様邸

住宅密集地に建つ住まい&エクステリアは7年前に新築。カーポートは気に入ったものがなく、駐車スペースを取っただけの状態でした。今回そこにカーポートを後付け。お客様が「Uスタイル」に惚れ込んで採用となりました。「最初は白いものが欲しかったんですが、この色が建物とぴったりですね。あとかつけたとは思えないぐらいスッキリ納まって、ご近所でも評判なんですよ」と奥様も大満足の笑顔でした。